第 9 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和3年 7 月 29 日

定 例 会

令和3年第9回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和3年7月29日
招集の場所 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
開閉会日時 開会7月29日 午前10時00分
閉会7月29日 午前10時53分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	荒 木 明 子
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副部長兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 学校管理課長	紺 野 功
教育総務部 副参事兼 図書館長	横 山 みどり	学校教育部 副参事兼 指導課長	小野寺 秀 明
生涯学習課長	木 村 和 明	学校教育部 副参事兼 給食課長	石 川 智 啓
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	前 田 清 彦	学校教育部 副参事兼 教育センター 所 長	齋 藤 紀 義
スポーツ振興課 副 課 長	坪 内 圭	学務課長兼 小中一貫校 整備室長	青 木 元 秀

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	濱 田 尊 則
----------------	---------

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより7月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ、傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

初めに、教育長専決第20号及び第35号議案については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

◎第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について

吉田教育長 それでは、第36号議案「越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について」、生涯学習課長から説明いたします。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 それでは、第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の11ページをお開きください。

第36号議案 越谷市文化財調査委員会委員の委嘱について。

越谷市文化財調査委員会委員を次のとおり委嘱するものとする。

令和3年7月29日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市文化財調査委員会委員が、令和3年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市文化財調査委員会につきましては、越谷市域内の文化財保護に係る調査や審議をすることを目的としており、専門性が高いことから、委員の委嘱にあたりましては民俗や郷土の歴史、考古学等、それぞれの学識を有する方をお願いしたいと考えております。

また、越谷市文化財調査委員会委員は、越谷市文化財保護条例第4条により設置されており、委員の数は越谷市文化財調査委員に関する規則第2条により7名と定められております。

任期は、同規則同条により2年と定められており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、令和3年8月1日から令和5年7月31日までとなります。

それでは、名簿にそって、氏名、選出母体・役職等、性別、任期のうち再任・新任の別の順に申し上げます。なお、その際敬称については省略をさせていただきます。

板垣時夫、埼玉県文化財保護協会副会長、男、再任。

鈴木照子、NPO法人博物館活動支援センター理事、女、再任。

高崎光司、元埼玉県立越ヶ谷高等学校教諭、男、再任。

橋本雄一郎、越谷市立花田小学校教諭、男、再任。

矢口孝悦、元羽生市教育委員会事務局職員、男、再任。

加藤幸一、元埼玉県立越谷西特別支援学校教諭、男、新任。

林貴史、久喜市文化財保護審議会委員、男、新任。

以上、7名の委員構成でございますが、男性が6名、女性が1名で、女性の比率は約14.3%となっております。また、再任が5名、新任が2名でございます。

第36号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またご意見等はございますか。

鈴木照子氏はNPO法人博物館活動支援センターが選出母体となっておりますけれども、このことについて少し概要を説明できますか。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 博物館活動支援センターについて、詳細な資料を持ち合わせておりませんが、博物館及び文化財所有者に対して、経営と管理運営の支援活動を行っていると同っております。

吉田教育長 住所は越谷市ではないということでしょうか。

木村生涯学習課長 越谷市ではございません。都内にございます。

吉田教育長 野口委員。

野口委員 今年度は、この委員会で主にどのような内容について審議するのか、教えていただければと思います。

吉田教育長 生涯学習課長。

木村生涯学習課長 文化財調査委員につきましては、この規則によりまして教育委員会の諮問に応じて指定、解除に関することなどを審議いただくという役割、位置づけになっておりますので、基本的には指定案件等があれば、そういったことをまずはご審議いただく予定となっております。ただ、昨年度は継続して行っておりました越ヶ谷秋まつりに関しての調査につきまして、地元自治会などへの聞き取り調査がコロナの影響がありまして実施できませんでした。一方で、久伊豆神社などに古い資料をお借りしまして、その調査を進めているところでございますので、引き続き秋まつりの指定が可能かといった点につきまして、事務局側で進めている業務の報告を行う中で助言をいただきながら、指定に向けた手続や準備を進めてまいりたいと考えております。

また、通常指定案件がないときには、文化財保護事業として市が取り組んでおりますもの、大間野町中村家住宅や旧東方村中村家住宅などで取り組んでおります普及事業等がございますので、

それらの取り組み内容を報告いたしまして、状況に応じてご意見をいただく形で会議を開催していきたいと考えております。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 これより第36号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎協議事項 蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴う新校名について

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴う新校名について」、学務課長から説明いたします。
学務課長。

青木学務課長 それでは、蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴う新校名についてご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項13ページをお開きいただきたいと存じます。

小中一貫校の整備を進める上で非常に重要となります、蒲生小学校と蒲生第二小学校の合併に向けまして、これまで地域説明会や対象となる保護者様に対しまして説明会等を実施してまいりました。そのような中で、令和4年4月、蒲生小学校・蒲生第二小学校が合併し、新たな学校として開校するための「新校名」につきましてご協議いただきたいと存じます。

当該資料につきましては、蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴う新校名候補の選定経過をお示ししたものでございます。

「1 合併地域準備会での協議」にございますように、まず両校の関係自治会代表者及びPTA代表者、学校長等で構成いたします「合併地域準備会」におきまして、令和3年2月、第1回目の協議を行いました。準備会からは、「蒲生という地域全体が1つになるということが認識できる校名がよい」、「地域の蒲生という名が入ったシンプルな校名が受け入れやすい」、「蒲生小学校から様々な小学校へと分かれていった歴史も子どもたちに知ってほしい」、「歴史的背景を考慮に入れた校名がよい」、「子どもたちに意見も聞いて校名選定に反映させていくのがよい」などのご意見をいただくとともに、蒲生小学校という校名ではどうか、というご要望をいただきました。

また、第2回合併地域準備会において、ご意見を踏まえアンケート調査の実施について事務局から提案、了承いただき児童等に対するアンケート調査を実施させていただいたところでございます。実施をいたしましたアンケート調査でございますが、資料の2番目でございますように、蒲生小学校・蒲生第二小学校の児童・保護者・教職員を対象に、令和3年6月3日から10日まで

の期間で行いましたが、児童に対しましてはアンケートの実施目的を理解してもらうため、「小中一貫校に関すること」や「蒲生小・蒲生第二小学校の合併に関すること」、「蒲生周辺地域の歴史等に関すること」などを学校長や担任から説明をしてもらいながら、アンケートに答えてもらうような配慮を行ってまいりました。

アンケート調査結果につきましては、会議要項14ページから17ページに掲載しておりますが、14ページをお開きください。全体集計でございますが、「蒲生小学校がよいと思う」、「どちらかというとならぬ蒲生小学校がよいと思う」と回答いただいたのが1,268名と全体の77.4%、「どちらかというとならぬ他の候補名のほうがよいと思う」、「他の候補名がよいと思う」と回答いただいたのが370名と全体の22.6%となっており、およそ8割の方々が「蒲生小学校がよい」と肯定的な回答を寄せております。

一方で、およそ1割の方から「他の候補名がよいと思う」と回答いただいておりますが、これらにつきましては蒲生第二小学校の児童から寄せられているものが多く、新たな学校名でスタートを切りたいとの思いや、自分たちが通っている学校名がなくなってしまうという思いの表れであると感じております。合併後に際しては、心のケアを丁寧に行うなど配慮してまいりたいと思っております。

なお、アンケート調査の中で「蒲生小学校」を選んだ理由の主なものとしては、「合併しても歴史ある学校にしたい」、「地区の名前を学校名として残したい」、「シンプルで子どもたちに分かりやすい」などのご意見をいただいております。

事務局といたしましては、合併地域準備会や児童・保護者・教職員のアンケート調査等を踏まえまして、蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴います「新校名」につきまして、「越谷市立蒲生小学校」としたいと考えております。

なお、本日の定例会での協議を踏まえまして、9月の市議会に越谷市立学校設置条例の一部改正に係る議案を提出するほか、関係規則の改正を進めてまいりたいと考えております。

蒲生小学校・蒲生第二小学校の合併に伴う新校名についての説明は以上でございます。ご協議のほどよろしく願いいたします。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

荒木委員。

荒木委員 ご説明ありがとうございます。

今回合併に伴う新校名を決めるに当たって様々なご意見をいただいたことや、保護者、教職員、そして実際に通っている1年生から6年生までの全児童を対象としてアンケート調査を行ったことはよかったですと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 1の合併準備会での協議のところの丸印の3つ目で、蒲生小学校から様々な小学校へと分かれていった歴史というのがあるのですけれども、蒲生第二小学校は蒲生小学校から分かれていったものなのですか。

吉田教育長 学務課長。

青木学務課長 子どもたちに説明するときには丁寧に説明をさせていただいておりますが、幾つか抜粋をしてお話をさせていただきたいと思います。

蒲生地域の小中学校の沿革につきましてですが、明治6年に蒲生小学校として開校したのが始まりでございます。その後、明治22年に蒲生尋常小学校に改称、大正12年に蒲生尋常高等小学校に改称、昭和16年に蒲生国民学校に改称など、蒲生地区の中心として進められてきました。

分離につきましては、昭和44年に越谷市立蒲生第二小学校へ分離という形となっておりますが、他にも蒲生小学校から分離した小学校がございます。幾つか挙げさせていただきますと、昭和42年に川柳小学校へ分離をしております。昭和43年には南越谷小学校へ分離、昭和48年には蒲生南小学校へ分離、昭和52年には西方小学校へ分離、昭和54年には明正小学校へ分離と、蒲生小学校は蒲生地域における中心的な学校として大きな分離を繰り返していったという歴史があることを子どもたちに説明させていただきました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 お聞きしたいのですけれども、来年度から越谷市立蒲生小学校になり、令和8年からは小中一貫校になると思うのですけれども、小学校の名前はそのまま残すということでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

青木学務課長 越谷の小中一貫校の特徴といたしましては、小学校、中学校の枠組みを残したままという形でございますので、小学校の名前はそのまま残るという形になります。

吉田教育長 蒲生第二小学校の名前がなくなってしまうということになるのですけれども、これに対して何か資料館を残すとか、資料を残すとか、そういった動きとか話は出たのでしょうか。

学務課長。

青木学務課長 蒲生小学校、蒲生第二小学校とも1つの校舎で令和8年に開校となるわけですが、新しい校舎の中にレガシーと感ぜられるような物品ですとか、歴史が分かるようなものというのを、部屋にするのか、コーナーにするのか、これから設計を行う中でという形になりますが、いずれかの形で残していこうということで今検討をしているところでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口委員 ご説明いろいろとありがとうございました。

学務課長からもあったように、昭和40年代の人口急増期に蒲生地区につきましてはいろいろな学校に分かれていった歴史があるのかなと思っています。たしか市制40周年の記念誌が何かに出ていたのですが、蒲生第二小学校は昭和44年に分離したとおっしゃっていましたが、昭和44年の両校の始業式で、両校の学校の子どもたちが校庭で背中合わせになって式をしている写真が載っていたことを記憶しています。そういったことを考えますと、ここで合併するという事は一つ大きな歴史の転換点になるかなと感じています。いずれにいたしましても、大変丁寧に今回校名を決めるに当たって進めていただいたなと思いました。

また、市内では明正小学校という学校はあまり地域色のない名前といますか、一つ特徴があるのかなと思いますが、こういったアンケートを取ってみると、やはり蒲生という名前についての愛着が非常に強い地域だなということを感じましたので、そちらを大切に校名を決めていただいております、それでよろしいのではないかなと思いました。

これから開校記念日等を通して、地域とか学校の歴史については機を捉えてぜひ子どもたちにも伝えていただいて、地域を大切に育てる子どもたちの育成に取り組んでもらえればなと思いました。

吉田教育長 開校記念日について何か意見はありましたか。

学務課長。

青木学務課長 開校記念日等につきましては今までの保護者説明会等で話題には上がっておりません。新校名が決まりましたら次は新しい校章や校歌を決めるなど、他にも様々な検討が必要でございます。蒲生小学校という名前を決定することで、これらの検討にも進んでいきますので、まずは学校名を決定することから始めたいと考えております。

吉田教育長 他にございませんでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて準備を進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、そのように進めさせていただきます。

◎協議事項 令和3年度越谷市教育費補正予算について

吉田教育長 続きまして、「令和3年度越谷市教育費補正予算について」、教育総務部長から説明いたします。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 それでは、令和3年度越谷市教育費補正予算の要求内容についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の令和3年度越谷市教育費補正予算についてをご覧ください。

まず、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入の要求につきましては、今回4,228万5,000円を追加し、補正後の総額は27億1,715万1,000円となります。

歳入の内容でございますが、6ページ、7ページをご覧ください。初めに、教育総務部の要求でございます。スポーツ振興課ですが、15款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金につきましては、総合体育館における施設用器具購入費用等に係る魅力ある地域づくり事業補助金738万5,000円を追加します。

次に、学校教育部の要求でございます。指導課ですが、14款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金につきましては、中学校の修学旅行及びスキー教室を中止とする際に発生する費用に係る新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金3,490万円を追加します。

続いて、歳出の内容でございますが、恐れ入りますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回2億973万9,000円を追加し、補正後の総額は108億7,001万1,000円となります。

歳出の主な内容についてご説明を申し上げます。恐れ入りますが、8ページ、9ページをご覧ください。初めに、教育総務部の要求でございます。生涯学習課ですが、6項社会教育費、1目社会教育総務費の成人式開催事業につきましては、成人式の会場を一部変更することに伴い、成人式会場設営等委託料132万円を追加するとともに、同様の理由により会場借上料57万円を減額します。

次の3目コミュニティセンター費のコミュニティセンター費につきましては、越谷コミュニティセンターの使用料に係る還付金として3万1,000円を追加します。

次に、科学技術体験センターですが、1項教育総務費、5目科学技術体験センター費の科学技術体験センター管理運営費につきましては、科学技術体験センターに係る施設改修工事費として400万円を追加します。

次に、スポーツ振興課ですが、7項保健体育費、4目市立体育館費のうち市立体育館管理運営事業につきましては、県の補助金を活用し、総合体育館のバスケットゴール等の整備に係る施設用器具購入費1,247万円を追加します。また、施設管理費につきましては、同様に県の補助金を活用し、総合体育館のフロアコーティング等に係る施設改修費231万円を追加します。

次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課ですが、中段の2項小学校費、1目学校管理費のうち学校活動運営費につきましては、小学校の運営に係る薬品処分等委託料として332万8,000円を追加します。

また、施設管理費につきましては、小学校施設管理に係る植木管理等委託料の追加に加え、施設改修に係る設計委託料及び工事費の追加並びに設備等改修工事の減額を行い、合わせて4,675万

円を追加するほか、備品等整備事業につきましては小学校備品に係る学校用備品購入費として、合わせて280万円を追加します。

次の3項中学校費、1目学校管理費のうち学校活動運営費につきましては、中学校の運営に係る通信運搬費の追加及び薬品処分等委託料として、合わせて264万1,000円を追加します。

恐れ入りますが、10ページ及び11ページをご覧ください。次の施設管理費につきましては、中学校施設管理に係る植木管理等委託料の追加及び施設の改修工事費として、合わせて1億95万円を追加するほか、備品等整備事業につきましては中学校備品に係る学校用備品購入費として、合わせて361万円を追加します。

次に、学務課ですが、1項教育総務費、2目事務局費の教育活動支援事業につきましては、特別支援教育支援員等の配置に係る会計年度任用職員報酬1,784万6,000円を追加します。

次の7項保健体育費、1目学校保健費の健康管理事業につきましては、産業医及び健康管理医の配置決定に伴い、41万5,000円を減額するほか、児童生徒健康管理事業に係る消耗品等として、合わせて155万8,000円を追加します。

次に、指導課ですが、1項教育総務費、3目学校教育指導費の外国語指導事業につきましては、外国語指導委託料の契約額の確定に伴い、2,800万円を減額します。

また、その他学校教育指導費につきましては、国の地方創生臨時交付金を活用し、中学校の修学旅行及びスキー教室を中止する際に発生する費用の保護者への助成として、3,490万円を追加します。

次に、教育センターですが、1項教育総務費、4目教育センター費の学校系ネットワーク運用事業につきましては、貸出し用モバイルルーターに係る通信運搬費として186万円を追加します。

9月補正予算の要求に係る説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 お聞きしたいのですけれども、校舎設備等の改修というのは毎年必要なことだと思います。それで予算立てをしているかと思うのですけれども、9月補正で新たに予算を要求するという事は、年度が始まってから新たな予算が必要になったということで要求をするということでしょうか。当然それはあり得ることだと思うのですが、もしこれが通らなかった場合にこれらの校舎、設備等の改修工事ができないということになると、子どもたちの安全、安心ということを考えると望ましくないことと思うのですけれども、この辺はどのようになっているのでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

紺野学校管理課長 渡辺委員がおっしゃるとおり、今回9月補正で要求する意味といたしましては、

次年度に必要なもので、今年度中に整備をしておかなければならないというものでございます。

例えば教室等が来年度増えて、足りなくなるというような場合には、今年度中に空き教室を使用できるような形に改修する必要がある、そういうことも踏まえて要求しているものもでございます。実際に予算が確保できないということになりますと、学校での運営事業にも支障をきたすということになりますので、その辺はしっかりと財政当局にも説明し、予算を確保いただけるよう、働きかけております。

以上でございます。

吉田教育長 基本的には、直ちに危険が及ぶとか、あるいは大きく学校運営に支障があるということについては、優先して予算要求をしています。ただし、ある程度期間を置いて対応が可能なものにつきましては、他の予算との兼ね合いから見送られる場合もございます。それはその時の状況により判断されています。

学校管理課長。

紺野学校管理課長 今教育長がおっしゃったように、緊急性がなく来年度の当初予算でも間に合うのではないかと判断されたものにつきましては、当初予算で対応してくださいという話になることもあります。財政当局といたしましても、限られた予算の中で配分することになるので、予算折衝をしていくなかで、必要なものは予算付けをしていただき、見送ることができるものについては次年度にという形になりますが、私達といたしましては財政当局にしっかりと説明をしながら取り組んでおります。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口委員 毎年この時期にかなり要求しているかと思うのですが、学務課で特別支援教育支援員等の配置に係る報酬関係、会計年度任用職員報酬になるのかなと思うのですがけれども、それにつきまして学校からの要望が何名ぐらい出ているのか教えていただきたいと思います。また、それが増加傾向にあるのかということも併せてお聞きします。

吉田教育長 学務課長。

青木学務課長 昨年度中に行いました今年度当初予算に向けての配置要望をまとめたものがございます。学校数でいいますと、45校中40校から要望が上がっておりまして、人数で申しますと合計167名の配置要望ということで承っております。

吉田教育長 よろしいですか。

野口委員 これは、毎年増えている状況ということでよろしいですか。

吉田教育長 学務課長。

青木学務課長 失礼いたしました。

ここ数年の配置要望数を見ますと、年々増加傾向にあるのは、間違いございません。例を申し

上げますと、昨年の当初ベースですと、昨年の当初の要求につきましては132名でございました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 市保存民家「大間野町旧中村家住宅」の国登録有形文化財（建造物）への登録に関する情報提供について

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「市保存民家「大間野町旧中村家住宅」の国登録有形文化財（建造物）への登録に関する情報提供について」、生涯学習課長から説明いたします。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 それでは、市保存民家「大間野町旧中村家住宅」の国登録有形文化財（建造物）への登録に関しまして情報提供させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の19ページをご覧ください。過日、新聞などで報道がございました市保存民家「大間野町旧中村家住宅」の国登録有形文化財（建造物）の登録について、登録に当たり文化庁との調整を行いました埼玉県教育委員会から、文化庁の報道発表の概要が送られてまいりました。

まず、1、文化庁の報道発表の概要でございますが、国の文化審議会は、令和3年7月16日金曜日開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、越谷市保存民家「大間野町旧中村家住宅」の主屋、納屋、土蔵、石倉、御嶽社、長屋門の6件を登録有形文化財（建造物）に登録するよう、文部科学大臣に答申しました。

この結果、大間野町旧中村家住宅は、国の官報告示を経て、正式に国の登録有形文化財（建造物）となる予定と報道発表されたところでございます。

次に、2、大間野町旧中村家住宅の概要でございますが、(1)、所在の場所、(2)、主な特徴・評価、続きまして20ページになりますが、(3)、建築年代及び登録基準につきましては、恐れ入りますが、資料をご参照いただきたいと思います。

次に、3、国登録有形文化財（建造物）の概要でございますが、(1)、登録数は令和3年7月1日現在、全国で1万3,082件、うち埼玉県内では187件となっております。越谷市内では、平成27年11月に木下半助商店の4件が、平成31年3月に旧大野家住宅の2件が登録されておまして、大間野町旧中村家住宅の6件が新規登録されますと、市内の登録有形文化財（建造物）は12件となる見込みでございます。

(2)、登録基準でございますが、文化財保護法に基づき、建築後50年を経過している建造物で、次のいずれかの基準に当てはまるものが対象となります。なお、大間野町旧中村家住宅は、主屋、

納屋、石倉、長屋門、こちらは①、国土の歴史的景観に寄与しているものに該当し、土蔵と御嶽社につきましては②、造形の規範となっているものに該当しているとのことでございます。

なお、本市におきます市民への周知につきましては、「広報こしがや」お知らせ版の8月号への掲載を予定しております。

「大間野町旧中村家住宅」の国登録有形文化財（建造物）への登録に関する情報提供は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

堀川委員。

堀川委員 情報提供ということで、ありがとうございました。

このような伝統的な建造物がきれいに保存されていて、国の有形文化財に登録されるということ、大変喜ばしいことだと思います。お庭の奥のほうにある御嶽社なども大変風情があって、すばらしいと思います。これから広報でお知らせするというので、多くの市民に皆さんに見ていただければなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 貴重な文化財を大切に、後世に残していくことになると思うのですが、今後どのように活用していくのか。例えば子どもたちの見学など、現時点で結構ですので、お考えの事がありましたら教えていただければと思います。

吉田教育長 既に公開をしているものですが、引き続きということでなにかございますか。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 今教育長が申し上げたとおりとなってしまうのですが、国の登録有形文化財は今回3例目で、木下半助商店から始まっておりますけれども、木下半助商店につきましては個人で現在まだお使いになられている、お住まいになっている建物ということで、一般に公開はされておられません。

ご案内のとおり、この大間野町旧中村家住宅につきましては、これまでも市が寄贈を受け復元してから、市民の皆様に見学、一般公開をさせていただいている施設でございまして、社会科見学の話を先ほどいただきましたけれども、これまでも小学校の児童の皆さんに見学してもらい学んでいただく施設、さらに昔の暮らしを学ぶ幾つかの講座を市で実施するなど、様々な形で体験いただける取り組みを行っております。

今回、国の登録を受けまして、新たに何かを始めるという計画は今の時点ではございませんけれども、これまでどおり、多くの市民の皆様にお使いいただく、お越しいただけるよう、引き続き周知に努めていきたいと考えております。

吉田教育長 会議要項21ページの4の登録見込み建造物の写真で、この①から⑥の中のどれかとい

うことでなくて、①から⑥全てが対象となると考えてよろしいですか。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 今回の登録の見込みとなっておりますのは、21ページでいいますと①から⑥まで、先ほど申し上げました20ページの(3)に対象を明記し、建築年代やその登録基準を記載させていただいておりますけれども、それぞれが登録される見込みであるということでございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

委員の皆様から他にございますか。何かございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 7月の臨時教育委員会会議で令和4年度使用中学校教科用図書採択に係る選定委員会委員についてご審議いただいたところがございますけれども、次回の教育委員会会議で教科用図書の採択についてを議題とすることになります。

事務局より何かありますか。

指導課長。

小野寺指導課長 さきの臨時教育委員会会議後に越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会を開催し、選定資料が7月の下旬に作成されますので、次回の教育委員会会議で教科用図書の採択についてを議案としてご提案させていただきます。

その際、越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第4条の規定に基づきまして、選定委員会が推薦する教科書について意見を述べさせていただくため、選定委員の出席を求めたいと考えておりますので、ご了承いただきたいと存じます。

吉田教育長 ただいま事務局より選定委員の出席について説明がありましたが、いかがでしょうか。よろしいですか。

[「はい」と答える者あり]

吉田教育長 それでは、説明のあったとおりに進めさせていただきます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、以上といたします。

次回の教育委員会会議の日時につきましては、8月26日木曜日午後2時から、会場につきましては教科書採択を議題とすることから、より広い会場であります市役所本庁舎8階第1委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

[「はい」と答える者あり]

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。ありがとうございました。

(午前10時53分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長 吉 田 茂

委 員 野 口 久 男

委 員 堀 川 智 子

委 員 荒 木 明 子

委 員 渡 辺 律 子

委 員 山 口 文 子

書 記 教育総務課副課長 濱 田 尊 則